



令和 7 年 11 月 吉日

報道機関 各位

上田誕生 20 周年記念

台東区・池波正太郎記念文庫 姉妹館連携事業

写真展

「『おれの足音—大石内蔵助—』の舞台を歩く」

◆◆開催のお知らせ◆◆

池波作品の〔忠臣蔵もの〕の集大成といえる『おれの足音—大石内蔵助—』の舞台となった東京・兵庫（赤穂）・京都を取材し、浅野内匠頭が刃傷におよんだ江戸城松の廊下（現・東京都千代田区皇居東御苑内）や吉良上野介の屋敷（現・東京都墨田区両国 本所松坂町公園）など、物語の中で印象深く登場する場所の現在の様子を、関連資料とあわせて写真展示します。

期 間 令和7年12月13日（土）～ 令和8年2月15日（日）

時 間 午前10時～午後6時（最終入館は午後5時30分まで）

休館日 毎週水曜日（ただし2月11日（水・祝）は開館）

※振替休館：1月13日（火）、令和8年2月12日（木）

※年末年始：12月29日（月）～ 1月3日（土）

場 所 池波正太郎真田太平記館 1階企画展示室

入館料 一般400円、高大学生260円、
小中学生130円（市内高校生以下は無料）
※団体・障害者手帳所持者割引あり

問合せ 池波正太郎真田太平記館（電話：28-7100）

上田市は「SDGs 未来都市」です。



上田市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

上田市 産業振興部商工課
池波正太郎真田太平記館

担当：小林・竹内

電話：0268-28-7100（直通）

FAX：0268-28-7101

E-mail：taiheikikan@city.ueda.nagano.jp

上田市誕生20周年記念

台東区・池波正太郎記念文庫 姉妹館連携事業

写真展

「おれの足音」

—大石内蔵助—の

舞台を歩く



大石内蔵助の山科閑居(京都府京都市山科区西野山桜ノ馬場町 大石神社)

令和7年

令和8年

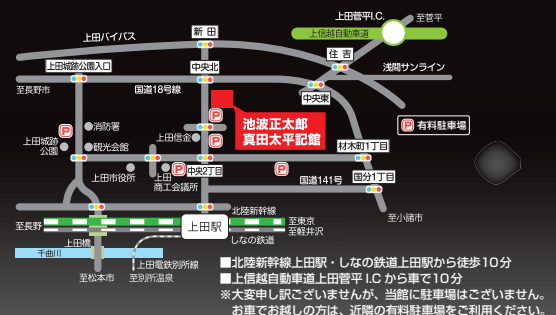
12月13日(土) ▶ 2月15日(日)

開館時間 午前10時から午後6時まで(入館は午後5時30分まで)

会場 池波正太郎真田太平記館 1階企画展示室

休館日 毎週水曜日(ただし、2月11日(水・祝)は開館)
※年末年始/12月29日(月)~令和8年1月3日(土) ※振替休館/1月13日(火)、2月12日(木)

観覧料 一般 400円、高・大学生 260円、小・中学生 130円
※市内の高校生以下は無料 ※団体・障害者手帳所持者割引あり



池波正太郎真田太平記館

〒386-0012 長野県上田市中央3-7-3

TEL: 0268-28-7100 FAX: 0268-28-7101

<https://www.city.ueda.nagano.jp/site/ikenami/>

写真展

『おれの足音』

「大石内蔵助」の

舞台を歩く

上田市誕生20周年記念
台東区・池波正太郎記念文庫

姉妹館連携事業

『おれの足音 -大石内蔵助-』は吉良上野介^{きょうこうすけのすけ}を討った赤穂浪士四十七士の頭領・大石内蔵助^{おおいしくらのすけ}の生涯を、「忠臣蔵」として一般的に知られる物語とは違った“池波独自の観点”から描いた作品で、昭和45～46年にかけて「北海道新聞」「東京新聞」「中日新聞」「西日本新聞」（いずれも夕刊）で連載されました。

今展では、物語の舞台となった東京・兵庫（赤穂）・京都を取材し、浅野家が城主を務めた播州・赤穂城（兵庫県赤穂市上飯屋）や、浅野内匠頭^{あさのたくみのかみ}が刃傷^{にんじょう}におよんだ江戸城松の廊下（現・東京都千代田区皇居東御苑内）、吉良上野介の屋敷（現・東京都墨田区両国 本所松坂町公園）など、物語の中で印象深く登場する場所の現在の様子を、関連資料とあわせて写真展示します。

「昼行燈」^{ひるあんどん}のあだ名がつきながらも妻子と仲良く暮らし、晩酌を愛し、時には遊女^{あそびめ}と戯れ、弱い者にも優しい。池波正太郎が愛してやまなかった人間味あふれる男・大石内蔵助。

様々な風景から、物語の場面や登場人物たちに思いを馳せ、ぜひ『おれの足音 -大石内蔵助-』の世界をご堪能ください。



播州・赤穂城（兵庫県赤穂市上飯屋）



大石内蔵助邸の長屋門（兵庫県赤穂市上飯屋 旧城内）



水茶屋・福山（京都府京都市東山区祇園町南側）



吉良上野介の屋敷
（東京都墨田区両国三丁目 本所松坂町公園）

池波正太郎真田太平記館

〒386-0012 長野県上田市中央3-7-3
TEL:0268-28-7100 FAX:0268-28-7101
<https://www.city.ueda.nagano.jp/site/ikenami/>

